

第5回県北地区新設高等学校統合検討委員会 議事録

期 日 令和5年2月10日（金）
時 間 午後2時00分～午後3時06分
会 場 一戸高等学校 会議室

1 開会（事務局担当校 岩手県立一戸高等学校副校長 新田剛史）

2 県北地区新設高等学校統合検討委員会委員長あいさつ（委員長 上野光久）

- ・ 今回が最終回となり、校章（図案）等を審議していただく。
- ・ 本日の協議題以外の事項で検討すべきことがあれば、本日出していただき、今後、統合に向けて設置される統合準備委員会で検討していくこととしたい。

3 報告

- (1) 第5回統合課題検討小委員会及び第2回教育内容検討小委員会（合同で開催）
（一戸高校副校長 新田剛史）

- ・ 資料2ページを読み上げて報告。

質問、意見はなし。

4 協議（議長 委員長 上野光久）

- (1) これまでの取組状況の確認等について（一戸高校副校長 新田剛史）

- ・ 資料4～6ページを読み上げて提案。資料のとおり承認。
- ・ (中嶋委員) 両校にある部活動を維持するとのことであるが、統合により、部活動の選択肢が増えるという理解でよろしいか。
- ・ 〈回答〉(一戸高校新田副校長) そのようになる。現在、一戸高校にない部でも福岡工業高校にあれば活動できるということになる。生徒にとっては選択肢が増えることとなる。
- ・ (中嶋委員) 部の統合は、令和6年度の学校の統合と同じタイミングで行われるのか。統合前の令和5年度から合同チームのような形で先行的に進めることは可能か。
- ・ 〈回答〉(一戸高校新田副校長) 部員数が少ない部は、合同での活動を考えているところ。また、単独で活動したい部もあると考えられるので、今後、検討しながら進めることとなる。

- ・(中嶋委員) 令和6年度からではなく、統合前の令和5年度から部の交流を開始することが、部のスムーズな統合につながると考えるので検討をお願いしたい。
- ・〈補足〉(上野委員長) 大会への出場は、競技・種目によって規定が異なるため、競技・種目ごとの検討となる。一方、練習等の交流については来年度から始めても問題はないと考えるので対応していきたい。
- ・(田家委員) 制服の販売店について、現在の各校の販売店に新制服の取扱いができるようにしてほしい。
- ・〈回答〉(一戸高校新田副校長) デザイン等を含めた新制服の作成については、制服メーカーに依頼することになる。依頼先となるメーカーから二戸地域の販売店に卸せるよう確認しながら進めたい。
- ・(田家委員) 以前、顧客から制服の購入時にクレジットカードを使えるようにしてほしいという声が複数寄せられたことがある。制服の購入は、金額が大きい買い物なので、クレジットカードによる支払いができるように、販売店にお願いをしてみたいか。
- ・〈回答〉(一戸高校新田副校長) 貴重なご意見として承る。
- ・(上野委員長) 校舎の名称について、第3回統合検討委員会において、校名で学びの内容を示さないときは、校舎名で学びを示すことで了承が得られたと解釈していたことから、資料4ページ「3 校舎の名称」にお示ししているように、福岡工業高校の校舎は「工業校舎」、一戸高校の校舎は「総合校舎」という名称にするということとしているが、これでよろしいか。

〈校舎名に関する質問、意見はなし〉

(2) 教育内容(スクール・ポリシー)について(一戸高校副校長 新田剛史)

- ・資料7、8ページを読み上げて提案。資料のとおり承認。
- ・〈補足〉(上野委員長) 補足であるが、資料7ページの「1 学校教育目標」は、資料4ページに掲載されている校訓を説明したものとなる。「2 スクール・ポリシー」は、時代に合わせて変わっていくものであることから、数年後には改訂することが想定される。
各校には学校運営協議会という組織が設置されており、そこで次年度の学校の方針を諮っている。一戸高校では、学校経営計画等を学校運営協議会に諮り、そこで承認を頂いて進めている。令和6年度の北桜高校も同様な流れとなっていくと考える。特に「2 スクール・ポリシー」以下の内容についてご提案やご意見をお願いしたい。

- ・(田家委員) スクール・ポリシーの検討は、工業科、総合学科と分ける必要はあるか。共通しているところは統一し、学科ごとの内容は学科ごとのものに分ける方がよい。また文言を揃えた方がよい。
- ・〈回答〉(一戸高校新田副校長) スクール・ポリシーの検討については、福岡工業高校と一戸高校がそれぞれ進めてきた経緯がある。統一できるところは統一していきたい。文言についても、これから精査し、表現を統一するようにしたい。
- ・〈補足〉(上野委員長) おそらく、両校の目指す学校像があり、その学校像に文章の表現が影響されているため、表現が揃っていない。共通するものは、ひとつにまとめて、学科ごとのものと分けることとしたい。この場で、決定はしないが、共通する項目と、学科を扱う項目の2つに分けて作る方向とする。
- ・(高村委員) アドミッション・ポリシーとはどのような意味か。
- ・〈回答〉(上野委員長) アドミッション・ポリシーは、入学して欲しい生徒像となる。
- ・(高村委員) スクール・ポリシーについて、わかりやすく、インパクトのある言葉で、端的な文章表現にできないか。全体的に長すぎると感じる。
- ・〈回答〉(上野委員長) スクール・ポリシーには、学校教育目標を達成するため、卒業までにどのような力を育てたいか、そのためにどのような活動を行うのか、どういう生徒に入学して欲しいのか等、具体的内容を示すため文章が長くなっている。
- ・(高村委員) 中学生にとってわかりやすい言葉でお願いしたい。
- ・〈回答〉(上野委員長) ご意見として承る。高校として、中学生に対してはスクール・ポリシーを示すだけでなく、学校説明会等を利用して、どのような学校であるか、映像等を使ってわかりやすく、具体的に説明していきたいと考えているところ。
- ・(学校教育室特命参事兼高校改革課長 安齊和男) 先ほど質問があったスクール・ポリシーとして定める3つの方針を日本語で表現すると、「グラデュエーション・ポリシー」は「育成を目指す資質・能力に関する方針」、「カリキュラム・ポリシー」は「教育課程の編成及び実施に関する方針」、「アドミッション・ポリシー」は「入学者の受け入れに関する方針」となる。この3つの方針をスクール・ポリシーとして定め、中学生等に明示することとしている。

(3) 校章（図案）について（一戸高校副校長 新田剛史）

- ・資料9～11 ページを読み上げて提案。資料のとおり承認。
- ・（上野委員長）この3案から投票により1つを選定したいと考えている。まず、案についての意見、または図案の修正等に関する意見があれば伺いたい。意見を考慮したうえで投票を実施したい。
- ・（生内委員）この3案というのは、様々な過程を経て選出されていることから、提案されている図案のまま選考の方が適切ではないかと考える。
- ・（上野委員長）ただ今のご意見を踏まえ、提案されている図案のまま投票するというところでよろしいか。なお、決定した図案を基に業者に委託して校章を作成する過程で、例えば線の太さを均一化する等きれいにデザイン化されることをご承知おきいただきたい。確認であるが、図案に添えられている説明文は生徒が書いたものか。
- ・〈回答〉（一戸高校新田副校長）図案に添えられている説明文は生徒が応募した際に作品に込めた思いを表したものであり、事務局は修正等を加えていない。
- ・（田家委員）図案Aの説明について、「上に向かう3本の線は3つの学科の生徒が…」とあるが、3つの学科とは何を表しているのか。
- ・〈回答〉（一戸高校新田副校長）確認してはいないが、福岡工業高校の「機械システム科」、「電気情報システム科」と、一戸高校の「総合学科」の3つの学科をイメージしたのだと思う。
- ・（堺田委員）A案の3つの線は、福岡工業高校の校章をモチーフにしてデザインしたのかと感じたがいかがか。
- ・〈回答〉（一戸高校新田副校長）図案に添えられている生徒の説明によると、成長していく様子を形に表しているとあるので、福岡工業高校の校章をイメージしたかどうかは確認していない。
- ・（高村委員）「高」は、「高」でよいのか。
- ・〈回答〉（一戸高校新田副校長）資料11ページに他校の校章の例を掲載しており、一戸高校、福岡高校とも「高」を使っているが、「高」を使っている高校もある。
- ・〈補足〉（学校教育室特命参事兼高校改革課長 安齊和男）岩手県立学校設置条例上は「高」となる。しかし校章の場合は、デザイン性等を考慮して、「高」を使ったり「高」を使ったり等様々である。
- ・（筒井委員）3つの図案の中から選ぶ際、まず、2つに絞った後に、決選投票を行うという方法はいかがか。
- ・（中嶋委員）過半数の票を得たものに決定することで良いのではないか。
- ・（上野委員長）では、過半数を超えた図案に決定することとして、投票を行うこ

ととする。投票の方法等について事務局からの説明を求める。

- ・（一戸高校新田副校長）ただ今お手元に配布した投票用紙に、A案、B案、C案とあるので、1つに○を付していただいた後、事務局が回収する。なお、投票用紙への記名は不要とする。

〈投票および集計〉

- ・（一戸高校新田副校長）集計結果を事務局から報告する。
- ・（事務局）A案は4票、B案は11票、C案は1票。
- ・（上野委員長）投票の結果、校章の図案は過半数を超えているB案に決定する。今後、業者に委託してB案を基に校章の作成を進めることとする。

（4）今後の統合準備の計画について（一戸高校副校長 新田剛史）

- ・資料12ページ及び別紙を読み上げて提案。資料のとおり承認。
- ・（上野委員長）今後、統合準備委員会が引き継いで、統合に向けた準備を進めることについて提案があった。ご質問やご意見を伺いたい。
- ・（高村委員）閉校に係る行事等について協議はあるのか。
- ・〈回答〉（上野委員長）今後、統合準備委員会で検討することとしている。
- ・（高村委員）閉校に関した行事等は、学校で準備するのか。
- ・〈回答〉（上野委員長）閉校に関した行事等は、同窓会を含めた関係機関と協議しながら進めていきたい。
- ・〈回答〉（一戸高校新田副校長）宮古商工高校を例に挙げると、閉校式は行わず、開校式を盛大に実施したとのこと。閉校式の実施の有無や持ち方等については、同窓会、PTA等の御意見を伺いながら検討して参りたい。
- ・（高村委員）例えば、記念碑を建てたい場合、各学校に対して県では予算等の配慮はあるか。
- ・〈回答〉（上野委員長）県からの、記念碑への補助等はない。
- ・（高村委員）同窓会の役員の中では、記念碑を建てたいと話をしていたところである。
- ・〈回答〉（一戸高校新田副校長）記念碑については、同窓会が建てることは、県の許可を受ければ可能であると考え。しかし、記念碑建立の予算措置等は県からは無いと考える。
- ・（高村委員）記念碑建立について配慮していただければありがたい。
- ・（上野委員長）記念碑建立については、学校としてはありがたいことであると考えている。記念碑の建立は学校または同窓会の判断ということになると思う。県の方で予算措置をしていただいて記念碑を建てることはない。

- ・(高村委員) 承知した。
- ・(中奥委員) 福岡工業高校の同窓会では、福岡工業高校という名前が無くなるということに関して、何か同窓会でやっていこうと計画しているが、閉校式をするということは考えていない。
- ・(上野委員長) それは、引き継いで、各校の同窓会で話し合いを進めていきたい。

(5) その他

質問、意見はなし。

5 その他 (一戸高校副校長 新田剛史)

質問、意見はなし。

6 岩手県教育委員会あいさつ (学校教育室特命参事兼高校改革課長 安齊和男)

- ・委員の皆様には昨年7月から5回にわたり、統合新設校の根幹にかかわる校名、教育内容、校訓、校歌、校章などについて、子ども達にとってより良い教育環境の整備、地域を支える人材育成の場の確保等といった観点から、それぞれの立場で想いを込めた熱心な協議をいただき、開校に向けた準備を進めることが出来た。厚く御礼を申し上げます。
- ・統合検討委員会は本日が最終回となり、詳細の検討は、両校の教職員による統合準備委員会に引き継がれることになる。来年4月に開校する北桜高校が、長年にわたり多くの人材を輩出してきた福岡工業高校と一戸高校、伝統を継承し、県北地域の専門教育の中心となる魅力あふれる学校になるよう、そして地域とともに歩み、発展し続けていく活力のある学校となるよう県教育委員会としても、引き続き学校の支援に努めて参りたい。今後もご支援、ご協力をお願いしたい。

7 県北地区新設高等学校統合検討委員会委員長あいさつ (委員長 上野光久)

- ・委員の皆様には、統合新設校に関する様々なことについて協議していただき感謝申し上げます。5回の統合検討委員会の中で、知恵と意見を出し合うことが、新しい学校を創っていく過程で大事であると感じた。
- ・統合新設高校の開校後においても、この統合検討委員会の思いを継承していかなければならない。また県北が一致団結して地域産業を支える人材を育てなければならぬと痛切に感じているところであり、今後とも、皆で県北地域の振興に取り組むという思いを共有させていただき、あいさつに代えさせていただく。

8 閉会 (事務局担当校 岩手県立一戸高等学校副校長 新田剛史)

※午後3時06分終了